

年男・年女記念撮影 **今年は子年さん大集合 2008**



今年は5年生の女の子たちが大勢参加してくれました。どこかでよく見る顔も!?

あけまして おめでとうございます。
本年もよろしくお願いたします。

次々と始まる大規模修繕、千葉県企業庁から千葉市への移管問題、予断を許さない路上駐車問題…ベイタウンは今年も様々な取り組むべき課題を抱えての船出となります。

なかでも移管問題については、ベイタウンの住み心地を左右する大きな問題です。ベイタウンニュースでは、昨年5月に発足した住民代表、千葉市、住宅事業者、企業庁が参加する『幕張新都心住宅地区の管理運営のあり方研究会』の取り組みを広く住民の皆さんにお知らせするとともに、「移管問題を考える会」を月1回開催し、住民が意見を自由に述べ、考えるオープンな場を設けてきました。

ベイタウンニュースは今年も自分や家族、仲間の住む街をどうすれば住みやすくできるかを、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。【編集局員一同】

※新年早々、お詫びと訂正。年男年女撮影日の曜日がまちがっておりました。また、この撮影会は卯年さんが来て一巡します。訂正し、お詫びいたします。



ベイマスターズのユニフォーム姿で参加してくれたのは、5番街に住む岡本好弘さん(47歳)。ベイタウンに住むようになったきっかけは、新浦安の公園を見に行ったときにURのパンフレットを見て幕張ベイタウンのことを知り、さっそく見にきて気に入ったことから。

「何かに書いてありましたが、神戸の六甲アイランド、福岡のシーサイドももち、そしてここ幕張ベイタウンを日本三大きれいな街とか言うそうです。私はその何れの街も知っていますが、幕張ベイタウンに住んでみて、学校が近いし、とても良い環境なので、子育てには一番適していると思います。また、住んでいる方の年齢層が近いこともあって、野球を通して付き合いが広がっています。」とにこやかに語ってくれました。

今年の抱負を伺ったところ、「息子の参加する4年生のCチームで優勝するぞ」とのことでした。頑張ってください!



向かって右から、海浜打瀬小学校5年の田中さん、渡辺さん、村岡さん、加納さん。

「来年はどんな年にしたい?」との質問に、このうち3人は、中学受験をめざして来年は勉強を充実させたいと答えてくれました。受験はしない加納さんは、健康に気を付けて元気に過ごしたいとのこと。

「12年後にまた写真に写りたいね、その時は24歳、もう結婚してたりして〜(笑)大切な子ども時代、素敵な思い出をいっぱい作ってね。」

移管問題を考える会便り

9月に実施された全住民を対象としたアンケートの結果のうち、数値データについては、本誌125号や、『幕張新都心住宅地区の管理運営のあり方研究会(以後、研究会)』による折込みにより既にお知らせしていますが、自由記入欄にも貴重な意見が数多くありました。正式な分析結果は「研究会」からの発表を待つとして、ここでは記者の主観でまとめてみました。【板東】

■公共施設の管理について

指摘が多かったのは、街路樹の枯れ、タイルの割れ・はがれ(車イス、ベビーカー、お年寄りに危険)、街路灯やポラードの電球切れ、街路灯が暗い(逆に明るすぎるという意見も)、日陰が少ない、ポラードのチェーンが危険、電柱が残っている所がある、「打瀬一丁目緑地(京葉線沿いの緑地)」が草ぼうぼう、など。特に、街路樹・タイル・電球については、行政に指摘をしても放置されている期間が長かったり、補修がいいかげん、メンテナンス後のチェックが甘い、などの指摘もあった。

■移管協議について/金銭的負担について

これについては「想いをぶつけた意見」が多数あった。主なものは、「企業庁から市への移管で何がどう変わるのか、具体的に教えて欲しい(特に、行政や住宅事業者)」、「購入時に全く説明がなかったので納得できない」、「高い税金・地代を払っているのに、そのうえでの金銭的負担は有り得ない」、「生活レベル維持のためにはある程度の負担はやむをえない」、など。「千葉市行政区域内の幕張新都心モデル街区が当初主管の県企業庁から市に移管するに当たり維持管理がレベルダウンする事自体納得できない。居住者もそれなりの税負担をやっている。折角作り上げたハイレベルの街に魅力を感じ若い世代の人口が増え活気ある街となれば平衡して市の税収増に繋がる。現状保持を切望、予算措置は県一市間の調整で解決すべき問題で、住民への転嫁は断じて許せない事である。立ち上げた以上責任を持ってもらいたい。」といった意見や、中には、「今のレベルを前提に購入したのに、詐欺に近い」、「住民訴訟を」といったシビアな意見もある。また、「ベイトウンはコミュニティ意識を持った人が多く住んでいると思う。それは米国等では比較的好くあることだが、国内ではあまり見たことがない。コミュニティに何が必要か何が問題かはそこに実際住んでいる人が一番よく知っている。行政の言いなりばかりではなく、かつ住民からの不満をただぶつけるのではなく双方が協力してより良い住環境を作るように働きかけられたらと思う。」という貴重な意見も。

■住民代表組織について

設問の選択肢(自治会連合会、管理組合中心、有識者委員会)について、その組み合わせを提案する意見が多かったが、賃貸住戸の意見反映ができないことを危ぶむ声や、自治会連合会の場合の組織率や、管理組合の場合の選任方法や任期(抽選で1年、等)が妥当なのかといった声も。また、それ以前に「自治会連合会が何者で何をやっているのか分からない」という意見もあった。

■ベイトウン・コアについて

不満の多くは、情報公開不足で現状が分からない(利用率、コスト、利用方法など)、図書館が使いにくい(狭い、蔵書数が不足、休館日が多い、利用可能時間が短い)、一部の人がしか利用できない(利用しにくい。団体に所属していないと利用できない)、公民館/図書館に対応が悪い人がいる、など。また、「そもそも利用しない」という人も相当数いた。

■第2コアについて

欲しい施設としては、住民のふれあいを促進する施設(ティーラウンジなど)、行政窓口、交番、図書館の拡張、運動施設、高齢者用施設、子供用施設などがあった。また、震災などに対応した、非日常的な設備を要望する声も。個人的な意見では、ロッテマリーンズの応援施設、ベイトウン住民議会議事堂など。一方では、必要性自体に疑問を持ち、「空地/緑地を残して欲しい」、「維持費の問題が提起されている中で何故用途も定まらない建物建設が並行して検討されるのかが全く理解できません。」といった意見もあった(注:第2コアの必要性について問うた設問に対する回答では、「拡張はぜひ必要」は14%でした)。

■路上駐車問題について

多かったのは、「駐車場代わりにしている車、ビジネス地区従業員など街以外の人の車を厳しく取り締まるべき」、「今でも横断歩道や交差点、バス停付近の駐車や右側駐車、空駐等ルール違反を取り締まられていないのに、新たなルールを導入しても取り締まりできないのでは?」、「モラルに頼るのは限界。全面駐車禁止に」といった声。具体的な提案としては、「住民や来客者、来店者には証明証のようなものを発行し、駐車時に掲示してもらおう」、「コインパーキングを導入しては?」などが多かった。

■その他の意見

その他には、「検討内容の情報開示が殆どない、或いはあったとしても発信度が少ない」、「自治会の動きをベイトウンニュースに任せず、自主的に街に動きを知らせて欲しい。住民にはベイトウンニュース=自治会のもんと思っている人がいる。その点しっかり働いて欲しい。(記者注:ベイトウンニュースは自治会連合会とは独立したボランティアの団体です)」、「現在の情報発信は民営のニュースで見えるくらいで、市民だよりで見たことがないのはおかしい。」といった、自治会連合会や行政の広報不足・情報伝達不足を指摘する声が少なからずあった。また、「自治会連合会の皆様おつかれさまです」とか、「ベイトウンがこれから住み良い街になるか否かは今どれだけ真剣に行政と取り組んで進んでゆくかによると思います。私達もいろいろお手伝いしたいと思っても少々のボランティア(草取りゴミひろい)しかできなくて申し訳ありません。」といった勇気づけられる声もあった。

1月住民シンポジウムのご案内

本誌折り込みでも案内のとおり、自治会連合会主催で、移管に関する第2回のシンポジウムが以下のとおり開催されます。研究会からのこれまでの経過報告や、住民が街の維持管理に携わった事例発表、9月実施のアンケートの結果報告、フリーディスカッションなどが予定されていますので、このテーマに興味のある方は、ぜひご参加下さい。

日時: 1/27(日)、13:30~16:00
場所: ベイトウン・コア ホール

第58回ファツィオリの会

時間: 9:30~11:30
場所: ベイトウン・コア 音楽ホール
月に一度のフルコンサートグランドピアノ「ファツィオリ」を弾ける会です。ピアノ以外の楽器の演奏や歌も大歓迎です。非公開での演奏も受け付けています。
申し込み締め切り日: 1月20日(日)
連絡先: TEL/FAX: 043-297-3088(上谷)

1月のコア・イベント

1/13
(日)

新年恒例 もちつき大会

時間: 10:00~
場所: ベイトウン・コア 中庭(整理券発行)
毎年1,000人もの参加者があるベイトウン新年恒例のもちつき大会。

1/19
(土)

わくわくおはなし会 1月の常設おはなし会

時間: 10:30~
場所: ベイトウン・コア 工芸室
わくわくおはなし会では老若男女を問わず、随時読み手を募集中です。
工作や手芸などでお手伝いくださる方も歓迎です。
連絡先 井上(Tel: 211-0188)まで

大規模修繕工事体験談 (3)

ウメクサ（記事がないとき、なんとか紙面を埋めるためにひねり出した記事）のつもりで書いた大規模修繕体験談だが、回を重ねるにつれ反響が意外に大きく驚いている。特に多いのはこれから大規模修繕を迎える番街の方からの質問で、生活上の情報や管理組合で扱う問題など様々だが、いずれもこれから工事を迎える方には切実な問題。ウメクサも時には役に立つこともあるものだ。というわけで、前回までは主に修繕工事に入る前の準備の苦労話を書いたが、今回はいよいよ工事期間中の生活について。

【松村】

エアコンの室外機やアミ戸の処理も終わり、これで住民側で準備することは終わった、あとは工事の進むのを高見の見物と思ったが、工事期間中の生活は予想以上に大変だ。シーリングや防水工事のためベランダ側の窓やドアは完全に目張りされ、ベランダに出ることはもちろん、外気を入れることもできない。外からの光も建物全体に張られた白い幕があ



マンション廊下の手すりからすぐに上れる工事階段。確かに子どもにはいい遊び場になる。

るので室内にはあまり入ってこない。ひとことと言えば「穴蔵生活」と言ったところだ。

穴蔵生活で一番困ることは洗濯だろう。ベランダに干せないのでむしろ室内で乾燥させることになるが、工事期間中外に置けない荷物でいっぱいのリビングが更に狭くなる。温暖化防止に逆行することになるが、仕方なくバスルームの浴室乾燥機能を使うことになる。幸い我が家はそう洗濯物の多い家族構成ではないが、小さいお子さんのいる家は大変だろう。

子どもと言えば、工事は子ども達にはどう感じるのだろう。同じ10番街に住む小さなお子さんのいるTさんからは、工事の足場は子ども達にはまるで巨大な「ジャングルジム」に見えるそうで、登ったりしないか不安だという話をいただいた。そう思って足場をよく観察してみると。あるある。あちこちにすぐに登っていけそうな階段や手すりが。腕白な子どもなら工事の休みの日曜日にはマンション全体が巨大なテーマパークだろう。これは工事業者にとっても大きな問題らしく、10番街では特に「子ども向けの工事説明会」が開かれたとTさんから教えられた。そのせいか、今のところ子どもが工事で怪我をしたという情報はない。

工事が進むと外壁や廊下などの塗装が始まるが、これも大変だった。「匂い」だ。塗装

にはシンナーなどの溶剤が使われるが、この匂いが締め切った室内に充満することになり、玄関前の塗装が行われているときは窓を開けられない。アレルギーのある方には要注意だ。

こんな風に穴蔵生活をするうちに、大規模修繕工事の時期はどの季節が良いかという疑問がわいた。夏場や冬場でメリットやデメリットはあるのだろうか。Tさんからは主婦の立場で貴重な情報をいただいた。

メリット：冬は暖房や湿度の関係で室内に干した洗濯物が乾きやすい。アミ戸がなくても過ごしやすい。塗装の匂いが暑い時期より気にならない。

デメリット：クリスマスとお正月が寂しい。受験生にとっては直前に騒音や匂いに悩まされる。と、どうやら記者と同様にTさんも冬派らしい。

夏に工事をした3番街のEさんに聞いてみると、エアコンの使用やアミ戸について制限があるので心配したが、事前に説明があり、思ったより期間が短かったのもそれほど不快感は感じなかったというお話をいただいた。管理組合と工事業者の間で生活上の問題について配慮や十分な情報提供があれば、そう大きな問題ではないのかもしれない。

ベイトウンニュースでは大規模修繕工事についてのご意見や情報を募集しています。これから工事を始める番街の方へのアドバイスや体験談。またこれから工事を迎える方からの疑問などでも結構です。工事業者との契約や工事価格についてなど管理組合関連の情報も歓迎します。情報には十分注意しながら街全体で役立たせたいと思います。

連絡先：松村（TEL/FAX 211-6853）

E-mail：mazmbtn@yahoo.co.jp

ベイトウンにはナノハナがよく似合う

今年の春は12番街、サウスコート前の歩道でナノハナを見つけ、思いがけず幸せな気分になったという話を4月号で紹介した。来年の春も咲くだろうか。次の春に咲かせるためには今頃はもう葉が大きくなっていないか。そう思って春にナノハナが咲いていた辺りを歩いてみた。

残念ながら耕された跡や、種が蒔かれた様子はなく、一面に雑草が生えていた。しかしよく見ると所々にナノハナらしき葉の苗がある。昨年の種が自然に発芽したものだろうか。だとしたらこれだけの雑草の中で相当強い苗だ。「ど根性ナノハナ」かもしれない。来春が楽しみだ。

来春はこの他にもナノハナの楽しみそうな場所がいくつかある。美浜打瀬小学校・13番街のT字路の花壇には美浜打瀬小学校で蒔いたらしきナノハナが沢山芽をだしている。また、アバンセの花見川沿いの道路には街路樹下の植え込みに花壇が作られ、ナノハナも育っている。こちらは種を蒔く時期が早かったのか12月初旬にはもう開花していた。

春にも咲くのかどうか、これも楽しみだ。

コア裏の打瀬東通り（バス通り）に面した空き地にも今年はナノハナが蒔かれた。いつもは雑草に覆われていた場所だが、ある日公民館の館長さんが草を刈り始めた、通りかかった住民が草刈りを手伝い、そのうちにナノハナを蒔いてみようという住民数人がスコップで土を起し、近くで遊んでいた子どもルームの子どもたちと一緒に種を蒔いた。種は今年12番街そばで咲いていたナノハナをいただいたものだという。こちらは種蒔きの時期が遅かったので開花は4月頃だろうか。春に



アバンセ沿いの歩道に作られたナノハナ畑。黄色い花がもう咲いている。

なると房州千葉の花、ナノハナがベイトウンのあちこちで咲く。そんな景色がベイトウン春の風物詩になるかもしれない。

【松村】



コア裏のナノハナ畑。まだ芽が小さいので、踏まれないよう囲みがつくられている。